

株式会社伸光製作所 2021年 安全衛生目標・実施計画書 (全社) (目標) 1. 完全ゼロ災害の達成 (1) 休業災害ゼロの継続 (2) 不労災害ゼロの継続 (3) ミニ災害ゼロの達成 2. 交通災害 (1) 全件数2件/年以下の達成 (100%被害事故は除く) (2) 加害事故ゼロの達成 3. 業務上疾病ゼロの継続	株式会社伸光製作所 安全衛生方針 伸光製作所は、安全で生き生き働ける職場環境づくりのために、「安全はすべてに優先する」を行動指針として、労働災害、疾病未然防止の活動に取り組んでいきます。また、安全衛生行動指針を定め、全従業員の協力により、常にリスク低減と継続的改善ができる安全衛生文化の醸成を進めます。		作成日	2020年12月17日	
	1) 労働安全衛生法または、これに基づく命令、事業場において定めた安全衛生に関する規程を遵守する。 2) OSHMS (労働安全衛生マネジメントシステム)に従って、活動及び措置を適切に実施する。 3) 設備の本質安全に沿ったリスクアセスメントの実施を図り、リスクの低減をする。 4) ライン管理と相互コミュニケーションにより、安全衛生活動のPDCAを確実に廻し、完全無災害を達成する。 5) 全従業員に必要な教育を実施し、構内協力会社に情報を公開する。 6) 全従業員の健康増進のため、心と身体の健康づくりに取り組む。 7) 全ての取組に自主性を持ち、ワンランク上のレベルをめざす。		承認	確認	作成
	株式会社伸光製作所 代表取締役社長 稲垣 俊二 印		稲垣 俊二 印	稲垣 俊二 印	稲垣 俊二 印

前年の概要	安全活動実施事項	施策	達成目標	実施担当	実施スケジュール																	
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12						
<b>【安全】</b> ミニ災害が1件発生し、目標未達 休業災害 ゼロ/年 不労災害 ゼロ/年 ミニ災害 1件/年 重点実施項目の一つ目の「トップとラインの長によるライン管理の徹底・トップとラインの長は、作業観察等により3現に基づく残留リスクの把握を行い、手順やルールを改善するとともに、重点志向で設備本質安全化を図る。」の達成率は90%であった。 毎月、トップ安全巡視が実施でき、作業環境、作業状態を確認する事ができた。作業観察マニュアルの教育により管理監督職の職場内巡視(観察)のレベルアップが図られた。手前の見直しは計画に沿って、ほぼ計画通り文書の見直しがすすめられた。次年は管理監督職に教育内容を参考に着眼点を変えた現場巡視を進め見落とししたリスクを拾い上げてもらいリスク改善につなげてもらう。 二つ目の「管理監督者と作業者の対話とPDCAによる効果的な改善・現場の指摘事項、要望事項を適切なRAによりフォローアップする。」の達成率は90%であった。リスクアセスメント年間計画により全部署計画件数を実施できた。リスクアセスメントはやり難い作業を中心に作業からの意見、HH、巡視指摘事項から抽出、部門別リスク一覧DB登録と改善の進捗をした。残留リスク管理表は職場内でチェックを実施し最新の残留リスクの共有もできた。次年も年間計画に沿ったRA実施と進捗フォローを継続する。 その他の安全活動では、安全の達人の実施により各人の安全度レベルが把握できた。安全の達人度は継続して行う。他に短勤者への安全教育、新規設備・装置の安全審査、化学物質に関するリスクアセスメントの実施とSDS教育等計画に沿って実施出来た。 <b>【協力会社】</b> 災害：ゼロ件 安全協力を毎月開催し、当社の安全衛生の活動状況の説明、また請負会社の安全衛生活動について報告を受け、コミュニケーションを深めた。リスクアセスメントは年間計画を立て実施できリスク認識を向上できた。 <b>【交通事故】</b> 全件数4件/年 目標の2件/年と加害事故ゼロ件は未達。 内訳：加害事故2件・被害事故2件 人身事故1件・物損3件 通勤時2件・業務上0件・私用2件 今までの活動のほか、新たに安全運転補助機器を使って運転マナーの向上を図った。次年も継続して運転マナーの向上を図る。 <b>【衛生】</b> 作業環境測定の結果：外形プレス防音ボックス内 騒音：管理区分Ⅲ、2月測定でホルムアルデヒドが管理区分Ⅱ、即時改善し区分Ⅰへ復帰。プレス騒音改善としてシャッターガードを設置し、吸音材追加など改善中。次年2月に環境測定で確認。 メンタル不調者は延べ7名で復帰者3名、不調者の職場復帰への支援は継続する。適正な労働時間管理は60時間超対象者に産業医の面談を実施、超労によるメンタルへの影響を確認。次年は業務改善による60hr超対象者の半減、産業医面談と年休計画による年休取得を継続。	<b>重点実施事項</b> トップとラインの長によるライン管理の徹底 ・トップと管理監督者は巡視や定時、定点などでの作業観察により3現に基づく残留リスクの把握をする。 ① トップとラインの長は、計画的作業観察により3現(現場、現物、現実)に基づき、残留リスクを把握し、手順やルールを改善するとともに、重点志向で設備本質安全化を図る。 ② 定時、定点などで作業観察を行い、手順やルールの順守状況を把握する。 ・改善の進捗状況のフォロー 管理監督者と作業者の対話とPDCAによる効果的な改善 ・管理監督者は作業者と積極的に対話し、やり難い作業、HHなどから指摘や要望を抽出する。 ① 管理監督者は、作業前打ち合わせやグループディスカッションに積極的に参加する。 ② 指摘事項、作業者の要望事項についてリスクアセスメントを行い、確実に実施する。 ・残留リスクの見直しと教育	指摘事項回答(改善実施、計画などの判断結果)(2w以内) 100% RA計画最低4件/年(提出先:安環部) RA実施報告書提出 100% 残留リスクの登録表提出 100%	社長/管理監督者 管理者/安全環境部フォロー	計画 実施																		
	<b>その他</b> 社員一人一人の感受性向上とルール順守の徹底 ・管理監督者による災害事例紹介とグループ員での意見交換、危険ポイントの確認(SMMグループ災害事例、基幹労連災害情報、伸光過去災害カレンダーなど) ・安全の達人(安全意識を高めるSMMの教育資料)による個人の危険感受性を向上させる教育実施 実施100%	リーダー/管理者フォロー リーダー/管理者フォロー	事例紹介1件以上/月 実施100%	〇自己診断/知識度テスト																		
	<b>安全活動</b> 機械設備の本質安全化 ・新規設備導入時の本質安全化設備導入審査での本質安全確認と不具合改善 対象設備100%	設備導入部門の管理者/安環部	設備導入100%																			
	短勤者への安全教育その後の確認 ・過去災害、残留リスクの教育 ・管理監督者による短勤者の作業観察とそのフォロー	対象部署リーダー/管理者フォロー	短勤者教育 100%																			
	化学物質に関するリスクアセスメントの実施とSDS教育 ・新たに使用する化学物質等のリスクアセスメント実施と化学物質登録 ・現使用薬品の使用場所へのSDS掲示再確認と使用者への再教育 ・薬品べからず集的教育(対象：薬品使用職場)	リーダー/作業主任者、安環部フォロー	教育 100%																			
	<b>協力会社</b> 協会の安全管理の強化 ・社内協力会社が行うリスクアセスメントのフォロー(実施時に参加、アドバイス) ・安全協会であがったHH事項の改善	所管部門/安環部フォロー 所管部門/安環部フォロー	出席率 100% 改善率 100%/年																			
	<b>交通事故</b> 交通事故防止 ① 飲酒運転の根絶(継続) ② 防衛運転の工夫と実行 ・飲酒運転撲滅に関する討議等(5月・11月) ・交通安全講話、4RKYT、ビデオ視聴、運転適性検査、標語、立哨、スタッドレスタイヤ点検実施等 ・安全運転補助機器(セフマナー)の活用 未実施者/新入社員/頻度の高い人優先に1か月/人	主任・課長/安環部フォロー	企画実施100%																			
	<b>労働衛生</b> 健康増進 定期健康診断結果(要精検者)のフォロー 受診率：90%以上	該当者の部門長/安環部フォロー	受診率：90%以上																			
	作業環境の改善 ・作業環境区分Ⅰの上限職場の環境改善 管理区分Ⅰ維持(徐ア入)2回/年測定 ・騒音区分Ⅲ(プレス防音作業室内)の改善 管理区分Ⅲ職場ゼロ	該当主任・課長/安環部フォロー 製造/安環	測定 測定																			
	メンタルヘルスと適正な労働時間の管理 ・メンタルヘルスチェックの実施と結果でのセルフケアの推進及び職場環境の改善 60時間超/月：対象者2020年比半減 年休取得率：50%以上 法令違反ゼロ ・業務改善による年間総実労働時間の削減 ・計画年休による休暇取得率の向上	管理者/総務部・安環部フォロー 該当部門管理者・総務部/安環部フォロー	60時間超/月：対象者2020年比半減 年休取得率：50%以上 法令違反ゼロ																			

備考	*安全活動の時間の確保として超労1時間/月は認める *短勤者…新卒、中途、派遣、職場異動、職場復帰者で職場配属1年未満	改訂年月日	改訂事項	改訂理由	承認
----	--	-------	------	------	----